

定期作況報告

(第2号 平成14年6月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より0.8℃高く、最低気温も平年より0.1℃低かった。降水量は平年より7mm少なかった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より4.3時間多く、平年対比108%であった。夏日（最高気温25℃以上）は3日間であった。

6月上旬：最高気温は平年より1.3℃高く、最低気温も平年より1.3℃高かった。降水量は平年より8mm多かった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年並であった。夏日は3日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より0.4℃低く、最低気温も平年より1.0℃低かった。降水量は平年より17mm少なかった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より5.4時間少なく、平年対比89%であった。夏日は1日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.4	19.6	0.8	20.7	19.4	1.3	21.4	21.8	▲0.4	20.8	20.3	0.5
最低気温(℃)	8.2	8.3	▲0.1	10.1	8.8	1.3	10.1	11.1	▲1.0	9.4	9.4	0
平均気温(℃)	14.0	13.8	0.2	15.5	13.8	1.7	15.5	16.2	▲0.7	15.0	14.6	0.4
降水量(mm)	24	31	▲7	20	28	▲8	3	20	▲17	46	78	▲32
降水日数(日)	3	4	▲1	3	4	▲1	1	3	▲2	7	11	▲4
日照時間(h)	58.9	54.6	4.3	47.5	47.5	0	44.8	50.2	▲5.4	151.2	152.3	▲1.1

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稻 : 平年並

事由： 移植（5月20日）後、活着は良好であった。6月上旬は好天により生育が進み、葉数・茎数・草丈ともに増加したが、6月中旬の低温により生育が停滞した。

6月20日現在、主稈葉数は平年並で、移植後の茎数増加が早かったため㎡当たり茎数は平年を上回ったものの、草丈は平年を下回った。

以上より、目下の作況は「平年並」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品 種 苗	主稈葉数 (枚)			茎数 (本/㎡)				草 丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら397 中苗	7.9	7.6	0.3	569	437	132	130	23.7	27.2	▲3.5
ほしのゆめ 中苗	7.2	7.2	0.0	519	418	101	124	26.8	27.2	▲0.4
きらら397 成苗	7.9	8.0	▲0.1	628	509	119	123	26.7	29.4	▲2.7

注1) 平年値は平成7～12年の7か年から平成10年と平成11年を除いた5か年の平均値。

ただし、「ほしのゆめ中苗」は平成9～13年の5か年の平均値。

2) ▲印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施 肥 量：N、P₂O₅、K₂O=9.0、11.0、8.0 (kg/10a)

栽植密度：25株/㎡ (33.3cm×12.0cm)

植え本数：中苗；4本/株、成苗；3本/株

移 植 日：中苗・成苗とも5月20日

2) 秋まき小麦： 平年並

事由：前期に引き続き6月上旬まで気温が平年より高く推移したため、出穂期は平年より8～9日早まった。茎数は生育が進んでいるため、平年を25～58本/㎡下回っている。草丈はほぼ平年並であった。

したがって、目下の作況は平年並である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/㎡)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ	6. 4	6. 12	△ 8	92	91	1	612	637	▲25
ホクシン	5. 30	6. 8	△ 9	93	91	2	616	674	▲58

注1) 平年値は、前7か年中、平成7年、9年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。▲は平年より減を示す。

3) とうもろこし：やや不良

事由：播種は平年より2日早い5月9日に行なった。播種後、気温は平年より高く経過したものの、5月24日までまとまった降雨がほとんどなく、土壌が乾燥したため、出芽期は平年より4日遅れ、出芽のバラツキも大きく、その後の生育に影響をあたえた。このため、草丈、葉数とも平年を下回り、特に「P3732」でその影響が大きかった。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表4 6月20日のとうもろこしの生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
キタユタカ	6. 1	5. 28	4	36	43	▲ 7	7. 4	7. 6	▲0. 2
P3732	6. 1	5. 28	4	27	40	▲13	6. 4	7. 5	▲1. 1

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

3) 平成10年度より栽植本数を 7576本/10aに変更した。

4) 大豆：やや不良

事由：播種は平年より2日遅い5月21日に行った。このため、出芽期は平年より2日～3日遅れ、主茎長及び主茎節数も平年を下回っている。
したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6. 4	6. 1	3	8.7	10.0	▲ 1.3	3.0	3.7	▲ 0.7
トヨコマチ	6. 3	6. 1	2	10.2	12.0	▲ 1.8	3.6	4.1	▲ 0.5

注1) 平年値は、前7か年中、平成7年、8年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

5) 小 豆：やや良

事由：播種は平年並の5月21日に行った。播種後の気温が高めに経過したため、出芽期は平年より3日早まった。出芽後も生育は順調で、主茎長、主茎節数は両品種とも平年を上回っている。
したがって、目下の作況はやや良である。

表6 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	6. 6	6. 9	△ 3	4.1	3.6	0.5	1.0	0.7	0.3
エリモショウズ	6. 6	6. 9	△ 3	4.5	3.9	0.6	1.0	0.7	0.3

注1) 平年値は、前8か年中、平成6年(最凶)、平成10年(最豊)、平成12年(参考)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

6) ばれいしょ : やや良

事由：植付けは平年より9日早く、また、植え付け後の気温が平年並～高めに経過したことにより萌芽期は平年より10日早まった。萌芽期以降の降水量は、平年に比べやや少なかったが、気温は平年より高く推移し、開花始は平年より8日～10日早まった。
したがって、目下の作況はやや良である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品種名	萌芽期 (月日)			開花始 (月日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
農林1号	5.17	5.27	△10	6.15	6.25	△10
男爵いも	5.17	5.27	△10	6.17	6.25	△8

注1) 平年値は、前4か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

7) てんさい : 平年並

事由：移植後、圃場は干ばつ気味に経過し、生育はやや緩慢であったが、5月下旬、6月上旬に降雨があり生育は良好となった。6月上旬の気温は平年に比べやや高めに推移したが、中旬はやや低く、少雨に経過したことから草丈、生葉数はほぼ平年並である。
したがって、目下の作況は平年並である。

表8 6月20日のてんさいの生育

品 種 名	草丈 (cm)			生葉数 (枚/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	35.0	33.6	1.4	13.1	13.4	▲0.3

注1) 平年値は前7か年中、平成10年、11年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。